

700の企業・団体が出展。今年も、東展示棟全ホールで展開

「問い直せ！日本の力～ソーシャルパワー元年～」
日本最大級の環境展示会
エコプロダクツ2009

2009年12月10日(木)～12日(土) 10:00～18:00[12日(土)は10:00～17:00]

東京ビッグサイト 東展示棟1～6ホール 入場無料

(社)産業環境管理協会と日本経済新聞社は、12月10日[木]～12日[土]の3日間、東京国際展示場(東京ビッグサイト)において、「エコプロダクツ2009」を開催いたします。

本展は、企業・団体、NPO・NGO、行政・自治体、大学・研究機関、そして一般生活者といった、様々な立場の人がエコプロダクツや環境問題に触れ、それぞれのスタイルでエコライフの実現を考える、日本最大級の環境展示会です。

第11回目の開催を迎える「エコプロダクツ2009」は、700社・団体、1,700小間(予定)が出展、会場は前回同様東京ビッグサイトの東展示棟全ホールを使用し実施。3日間で18万人の来場を見込んでいます。

このエコプロダクツ展は家電や日用品をはじめ化学や紙などの素材、エネルギー、金融、環境先端技術やソリューションなど幅広い分野のエコプロダクツやサービスが出展されます。

来場対象者もビジネスパーソン、行政、自治体、NPO・NGO、市民グループ、一般生活者、環境学習で来場する19,000人の子供たちなど広範囲の方々となっています。

これらすべての人々が、エコプロダクツを当たり前のように使う時代に、そして明るい未来をつくるための企画、商品、サービスをエコプロダクツ2009では紹介します。

今年のエコプロダクツのテーマは「問い直せ、日本の力～ソーシャルパワー元年～」

環境製品を当たり前のように使う時代—それは企業だけでは不可能です。行政、自治体、NPO、学生そして市民。すなわち社会の力を結集することが必要です。「技術の力、新しいアイデアやシステム、私たちの思い」これらがつながりあい、あたらしいカ=ソーシャルパワーとなることによって環境は、社会は、よりよいものになっていくはず。今年のテーマには、そんな思いを込めています。

公式サイト(<http://eco-pro.com>)では「オンライン・ガイドブック」を10月20日よりオープンし、出展製品・サービスの情報や、各出展者の体験プログラムなども掲載していきます。ご来場前にチェックしていただくことで「エコプロダクツ2009」を、より深く、より楽しく体験していただけます。(「オンライン・ガイドブック」は、出展者により随時更新されます。)

本展を貴媒体に是非ご掲載くださいますようお願い申し上げます。

また、ご掲載の折には、掲載紙・誌、URL等を広報事務局(最終ページ参照)までお送りいただくと幸いです。



一見どころ

今、注目の環境キーワード **CO₂削減** **生物多様性** **農業** **エコカー** **自転車** などの特集したテーマゾーンを設置！

会場では各出展者の展示ほか、環境キーワードをもとにしたテーマゾーンなどを数多く設けます。

■生物多様性ゾーン

「～地球のいのち、つないでいこう～生物多様性」・・・このコーナーでは「生物多様性」についてわかりやすく解説し、生物多様性保全の大切さ、企業にとっての生物多様性の重要性を伝えていきます。

「生物多様性と経済」・・・経済活動は、健全な生態系と生物多様性によって成り立ちます。この認識が急速に広まる中、新たなビジネスやステークホルダー間の連携がうまれています。このコーナーでは、企業の最新取り組みや、新しい指標の活用について事例を交え紹介します。

「自然観察会」・・・会場近くの公園で自然観察を行うツアーや、都会に残る自然の生態系などをわかりやすく解説。

■新しい農的資源の活用コーナー

都市生活者が、地域や農業にどう支援ができるかをテーマに、耕作放棄地・伝統的農業の再生、生き物が復活した循環型稲作、学生農的ネットワーク団体の活動などを紹介。「2010年、あなたができる農的ライフ大全」を特集し、日帰り農業体験・地域再生活動など豊富なメニューを紹介し、その場で実施者と交流・相談・申込ができます。

■エコカー&ペロタクシー乗車体験

電気自動車や水素で走る燃料電池車などのエコカーに同乗してお台場周辺を走行。また、ペロタクシー(自転車タクシー)の同乗体験も実施。



●エコプロダクツ2008本企画より、左写真：エコカー、右写真：ペロタクシー

■エコサイクルシティ

「自転車のある生活！～エコ&通勤」・・・

日本中で今、大人気の自転車！エコで、ヘルシーで、エコミーな「自転車通勤」を明日から実践したくなる情報やアイテムを紹介。自転車先進国オランダへの旅行や電動自転車が当たるアンケートプレゼントも実施。

「電動アシスト自転車体験コーナー」・・・電動アシスト自転車は、坂道や向かい風、ロングライド時にアシストしてくれるので、身近な乗り物として、注目を浴びています。スロープを用いた登り坂走行体験も可能。



自転車来場者を大募集！・・・会場には本展専用の駐輪場を用意し、毎日先着 200 名様にドリンク券をプレゼントします。尚、本展は自転車で都内をめぐるとポイントラリー「Bike to Eco」にも協力しています。※来場途中の事故など、主催者は責任を負いません。安全運転にご注意の上、ご来場ください。

ほかにも

■「**未来の低炭素都市ゾーン**」 政府から環境モデル都市に選定された都市と、低炭素社会づくりに貢献する企業・団体が、都市づくりのビジョンやこれまでの取り組みを紹介。

■「**エコロジカルリビング 2009**」 環境負荷が低く安心・安全な住まいづくりの事例を紹介。

など、様々な視点で楽しみながらエコライフを実践するヒントがいっぱい。

食べて、飲んで、ショッピング♪～子供から大人まで、おいしく楽しいテーマゾーンも

■「**グリーンストアーズ**」・・・毎日の生活を豊かにするエコ雑貨や安心コスメ、フェアトレード商品が集合！

■「**エコごはん&スイーツ**」・・・今年のフードコートではエコ弁当に新鮮サラダ、安心スイーツ、ドリンクなど素材や作り方など食にこだわった厳選ブランドが勢ぞろい！

■「**地域食とものづくり総合展 2009**」・・・ご当地の魅力がギュッと詰まった人気の地域ブランド商品が大集合。こだわりを持って作られている商品を多数展示！試飲、試食、販売なども会場で行います。



—開催概要—

- 名 称: エコプロダクツ 2009[第 11 回]
- 会 期: 2009 年 12 月 10 日[木]～12 日[土] 10:00～18:00[12 日(土)は 10:00～17:00]
- 会 場: 東京ビッグサイト(東展示棟) 東 1～6 ホール
- 入 場 料: 無料(入場登録制)
- 主 催: (社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
- 後 援: 経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、(社)日本経済団体連合会、(社)経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本貿易振興機構、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県[順不同]
- 協 力: (社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、グリーン購入ネットワーク、(財)日本環境協会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国小中学校環境教育研究会[順不同]
- メディア協力: 日経 Ecolomy、日経 BP 環境経営フォーラム、日経エコロジー、ecomom、環境 goo、GREENSTYLE、J-WAVE、ソトコト、環境新聞、教育新聞、日本教育新聞
- 来場対象: ・企業経営者、企業の購買部門、環境管理部門、製品・商品開発部門、経営戦略部門、社会貢献部門 など
・自治体・官公庁の地域振興部門、購買部門、環境部門 など
・各業界団体、地域産業・商工団体 など
・一般消費者(ファミリー層、主婦、学生、小・中・高生)
・環境 NPO・NGO 団体、市民グループ、環境に関心のある方
- 来場者数: 180,000 人、見込み(前回実績:173,917 人)
- 展示規模: 約 700 社・団体/1,700 小間 (前回出展実績: 758 社・団体/1,796 小間)
- 同時開催: バイオマス展 2009(主催:バイオマス展実行委員会、共催:日本経済新聞社)、地域食とものづくり総合展 2009(順不同)
- 来場者からのお問い合わせ先
<http://eco-pro.com>
エコプロダクツ問い合わせセンター フリーダイヤル 0120-261-122 (9:00～18:00 土・日・祝日を除く) ※12月25日までのご案内です。

☞プレスご来場について

・プレス事前来場登録

10月26日(月)より、公式サイト(<http://eco-pro.com>)の【プレス】ページから、事前来場登録が可能です。

・プレスルーム

東5ホールの商談室(1)に、プレスルームを設けます。当日は、こちらのプレスルームにお越し下さい。
プレスバッジ・報道資料を配布いたします。

■ 本リリース、広報用素材に関するお問い合わせ先

「エコプロダクツ 2009」広報事務局 共同PR株式会社内 担当:安田、宇津木、渡辺幸映さちえ

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

TEL/03-3571-5238 FAX/03-3571-5380 e-mail:m-yasuda@kyodo-pr.co.jp

